

## 脳神経外科

### 1. スタッフ

科長(兼)教授 貴島 晴彦  
 その他、教授3名、准教授1名、講師4名、助教7名、  
 医員14名、病棟事務補佐員1名  
 (兼任を含む。また、教授、講師、助教は特任を含む。)

### 2. 診療内容

脳神経外科で扱う疾患は、腫瘍性病変(神経膠腫、  
 転移性脳腫瘍など)、脳血管障害(脳卒中など)、神  
 経機能障害(てんかん、パーキンソン病など)、脊椎  
 脊髄疾患(脊髄腫瘍、脊柱管狭窄症など)、小児脳神  
 経疾患(水頭症、二分脊椎など)、など多岐にわたる。  
 これらのすべての患者に対し、安全、確実、低侵襲な  
 治療を提供するため、当科では、複数の専門医による  
 グループ診療を行っている。

(1) 以下に各グループの担当する疾患名を列挙する。

#### 1) 脳腫瘍グループ

- ・脳腫瘍一般(良性、悪性)
- ・特殊な腫瘍(間脳下垂体腫瘍、聴神経腫瘍、頭蓋  
底悪性腫瘍、悪性リンパ腫、小児脳腫瘍)

#### 2) 血管障害グループ

- ・脳動脈瘤
- ・硬膜動脈脈瘤
- ・脳梗塞
- ・脳内出血
- ・脳動静脈奇形
- ・脳血管閉塞・狭窄症
- ・もやもや病
- ・頭頸部血管損傷

#### 3) 神経機能外科疾患グループ

- ・てんかん
- ・運動異常症(パーキンソン病、ジストニア他)
- ・難治性疼痛(視床痛他)
- ・三叉神経痛
- ・顔面けいれん
- ・痙縮・痙性

#### 4) 脊椎脊髄疾患グループ

- ・椎間板ヘルニア、脊椎症、脊柱管狭窄症
- ・脊髄腫瘍
- ・脊髄損傷
- ・脊髄空洞症
- ・腰痛、坐骨神経痛

#### 5) 小児脳神経外科グループ

- ・水頭症
- ・脊髄脂肪腫
- ・脊髄髄膜瘤
- ・その他各種先天奇形

(2) 各専門グループにより、以下の治療や検査を提供してい  
 る。

- ・開頭手術(覚醒下手術を含む)
- ・脳血管内手術(カテーテル手術)
- ・コンピュータ支援手術(ナビゲーション)
- ・脳機能局在同定(神経磁気診断装置、MEG)
- ・難治性疼痛の治療(脊髄刺激療法、経頭蓋磁気刺激療

法)

- ・てんかん、不随意運動、痙縮等に対する機能外科
- ・脊椎・脊髄疾患に対する顕微鏡下低侵襲手術
- ・定位放射線治療(サイバーナイフ)
- ・機能再生外科治療(脊髄嗅粘膜移植治療)
- ・ボツリヌス毒素療法(顔面痙攣、ジストニアなど)

### 3. 診療体制

#### (1) 外来診療

外来では、疾患に応じて各分野の専門医が診療を担  
 当している(表2参照)。

特殊な疾患については専門外来も設けている(下垂  
 体専門外来、神経機能疾患外来)。

#### (2) 入院診療

当科は36床を有している。各患者を複数の医師が  
 担当しており、治療方針については、毎週1回行われ  
 るグループカンファレンスで決定している。また、毎  
 週火曜日には診療科全体での総カンファレンス及び総  
 回診を行い、科内での情報共有を図っている。

#### (3) 院内の各種センターへの診療参加

当科は以下に列挙する神経系に対する院内のさまざ  
 まな診療センターに参画している。

- ・脳卒中センター:神経内科・脳卒中科、高度救命救  
急センター、放射線科と連携し、24時間体制で脳卒  
中急性期患者の治療を行っている。
- ・てんかんセンター:小児科、神経内科・脳卒中科、  
神経科・精神科とともに、長時間ビデオ脳波等を用  
いた診断から外科的治療まで行っている。
- ・疼痛センター:麻酔科、整形外科、神経科・精神科、  
神経内科・脳卒中科、リハビリテーション部と定期  
カンファレンスを設け、包括的な診療を目指してい  
る。
- ・オンコロジーセンター:化学療法、放射線治療を含め  
悪性腫瘍の包括的治療を行っている。

#### (4) その他の共同診療体制

(3)に挙げた各種センター以外にも、以下のような疾  
 患に対して、関連各科と協力し、最先端治療を行って  
 いる。

- ・頭頸部血管損傷(高度救命救急センター)
- ・間脳下垂体疾患(糖尿病・内分泌・代謝内科)
- ・不随意運動(神経内科・脳卒中科)
- ・痙縮(リハビリテーション部)
- ・頭蓋底手術(耳鼻咽喉科・頭頸部外科、形成外科、  
眼科)
- ・小児脳腫瘍、先天奇形(小児科、産科・婦人科)

#### 4. 診療実績

##### (1) 外来診療実績

令和元年度外来診療患者総数：14246名

##### (2) 入院診療実績

令和元年度脳神経外科延べ入院患者総数：952名

##### (3) 検査・治療実績

令和元年度手術総数：551件

脳神経外科手術の総数	551件
脳腫瘍	171件
血管障害（外科手術）	12件
血管障害（血管内手術）	105件
神経機能外科疾患	139件
脊椎脊髄疾患	55件
奇形	8件
水頭症	40件
外傷	11件
その他	10件

表1 令和元年度 分野別手術件数

#### 5. その他

当科では以下のような先進的医療を行っている。

- ・脳機能解析と神経機能再建の研究
- ・悪性脳腫瘍に対する次世代治療の開発
- ・自家嗅粘膜移植による脊髄損傷後の機能再生治療
- ・難治性本態性振戦に対する経頭蓋超音波視床破壊術

#### 6. 各種専門医・認定医数

脳神経外科の各分野において、さまざまな専門医制度、認定医制度が存在している。当科には関連疾患ほぼすべての領域の専門医が多数在籍しており、診療のみならず教育面でも充実している。

以下に当科所属の専門医、認定医の人数を列挙する。

日本脳神経外科学会専門医	26名
日本脳卒中学会指導医	4名
日本脳卒中学会専門医	9名
日本脳神経血管内治療学会指導医	3名
日本脳神経血管内治療学会専門医	10名
日本脳卒中の外科学会技術指導医	1名
日本定位機能神経外科学会技術認定医	7名
日本てんかん学会認定指導医	5名
日本てんかん学会認定専門医	6名
神経内視鏡学会技術認定医	5名
日本脊髄外科学会認定指導医	1名
日本脊髄外科学会認定専門医	1名
日本小児神経外科学会認定医	2名

#### 7. 各種カンファレンス・研究会など

以下のカンファレンスや研究会に参加している。

##### (1) カンファレンス

- ・がんセンターボード
- ・脳卒中カンファレンス
- ・てんかんカンファレンス
- ・パーキンソン病・DBSカンファレンス
- ・疼痛カンファレンス
- ・内分泌下垂体カンファレンス
- ・小児腫瘍症例検討会

##### (2) 当科主催研究会

- ・脳神経外科関連施設懇話会（1年2回）
- ・大阪CVD研究会（1年1回）
- ・大阪脳血管内治療研究会（1年1回）
- ・大阪脊椎脊髄外科カンファレンス（1年1回）

表2 外来診察スケジュール（担当医の専門分野を記載）

	月	火	水	木	金
1診	神経機能 てんかん	神経機能	脳腫瘍 小児疾患	神経機能 間脳下垂体疾患	神経機能 てんかん 間脳下垂体疾患
2診	血管障害		神経機能 てんかん	脳腫瘍	神経機能 てんかん
3診	脊椎脊髄	間脳下垂体疾患	血管障害	神経機能	血管障害
4診	脳腫瘍 小児疾患		脊椎脊髄	神経機能 てんかん	脳腫瘍